

平成29年3月9日

美咲町教育委員会
教育長 柴原 靖彦 殿

評価者 佐々木 勇
(美作大学生生活科学部)

美咲町教育委員会の教育に関する事務の管理
及び執行の状況の点検・評価に関する所見

1 教育委員会の組織・活動について

教育委員会は定例会を始めとして、委員長を中心に事務局職員ともよく連携し、必要な構成員によって十分な時間をかけ、審議及び協議が熱心に行われている。また、マネジメント・サイクルにより計画し、プランに従って活動を実践し、その実践によって得られた成果や問題点が検討され、評価されている。数値目標による評価表の作成は、きめ細かな分かりやすい形での取組につながっている。今後は活動の執行状況により短いスパンでの、形成的評価を繰り返しながら、工夫・改善していくことが望まれる。

2 教育委員会が管理執行する事務について

「基本的・総務的事務」「人的管理に属する事務」がともに適正に執行されている。また、5年を期限とした「美咲町教育振興基本計画」に基づいて、教育委員会で十分審議し、その進捗状況がよく協議されている。

「施設・整備面」では周辺整備もよく行われており、児童・生徒が快適な環境で学校教育活動ができるように整備されたことは、大いに評価されるものである。

「人的管理に属する事務」については、岡山県教育委員会への内申や町長部局との関係についても適正に要望が行われている。引き続き、県費・町費職員を含めた研修の充実が一層求められる。

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

(1) 学校教育の推進

① 生きる力を育む教育の推進

「確かな学力の充実」では、数値目標を設置して実施されており、学力は全国平均に及ばない点もあるが、落ち着いた学級経営や授業が行なわれており、必ず成果に表れるものと思われる。『みさきっ子テレビ教室』では各校の多種多様な取組が紹介されており、児童生徒のみならず町民の方にも幅広く関心を持って見ていただくことができ、学力向上の波及効果・相乗効果となるものと思われる。

「特別支援教育の充実」では、基準以上の配置ができているのが大きな成果である。今後一層インクルーシブ教育の充実が望まれる。

② 職員の資質向上

岡山県総合教育センター及び津山教育事務所等の継続的な指導や、教員の授業公開により、職員一人一人の資質向上につながっていくことが期待される。県教委が出し

ている「学習指導のスタンダード」の利用とともに、活用の工夫・改善が望まれる。

③ 教育環境の整備

学校施設・設備の計画的な修繕が行われており、教育環境整備が整っている。町内はスクールバスによる登下校が多い。また長距離の徒歩通学も多いので、想定外の事故・事件の発生も考えられる。安全安心な教育環境の整備が一層求められる。

特に「学校・教育環境の整備」「安全安心の子育て環境」についての評価が他の項目に比較して低いので、改善が望まれる。

④ 食育教育の充実

各校の保健安全委員会等により、バランスのよい正しい食習慣や健康管理の重要性が指導されている。関係機関との連携により、さらに充実したものが期待される。

⑤ 開かれた学校づくり

「学校評議員会」「学校運営協議会」に学校から情報を発信するとともに、地域から要望や意見を聞きながら、地域に開かれた特色ある学校づくりが行われている。児童・生徒の実態や構成が変わってくるので、マンネリ化しない取組が求められる。

⑥ 人権教育の推進

学校の「人権講演会」「演劇鑑賞会」の支援をし、ポスター・標語・人権作文の募集により啓発活動を促進するなど計画的な取組がなされ、不登校・いじめ・暴力行為の出現率が大幅に改善されていることは大いに評価される。

⑦ 体力・健康づくりの推進

「全国体力・運動能力調査」では、小中ともに全国平均よりかなり上回る結果となっている。引き続き基礎体力向上や、スポーツ活動の充実につながる取組が求められる。

(2) 家庭・地域社会の教育の充実と相互連携

① 時代の進展に対応した教育の推進

NIE、ALT、中学校の職場体験学習や人材派遣等に、時代の進展に対応した教育の推進がなされており、今後の充実が期待される。特にキャリア教育の推進は、就学前より取り組む必要がある。

② 家庭の教育力の充実

教育委員会が率先して挨拶運動を支援し、ノーメディア運動に取り組むことは、保護者の意識向上につながる。「親育ち応援プログラム」の活用などにより、親同士のネットワークを広げ、親が孤立しない取組が求められる。

③ 地域社会の教育力の充実

学校支援地域本部事業、放課後子ども教室、地域学習施策、子育て支援など諸団体との協力や支援をし、バランスの取れた推進に努めているのは評価に値する。

④ 家庭・学校・地域社会の連携強化

生活リズムの向上は成果が出ているが、読書推進活動については学校・行政ともに課題もあるように思われる。各校や各公民館等とも連携して情報交換をするなど、より充実した物的・人的施策が求められる。

⑤ 人権教育・啓発の推進

啓発活動や指導者要請をするなど人権意識の向上に努めているが、さらに積極的な

啓発活動の定着とともに、指導者の養成が求められる。

(3) 生涯にわたって学べる環境づくりとスポーツ・文化活動の振興

① 生涯学習の推進と施設の整備充実

3地区ともに充実した講座等が開催されているが、施設の整備等は改善が必要である。成人式では、厳粛な中にも華やいだ雰囲気であったことは当たり前のことではあるが、評価に値する。これが地域を愛し、故郷を愛する心となって、美咲町に残り地域に貢献する人材の発掘をしたいものである。

各図書館では、図書の実用と利用に関する取組が高い成果を上げている。

② 生涯スポーツの推進

スポーツ活動への参加促進、総合型地域スポーツクラブやスポーツ団体の育成と支援ともによく推進されている。また、学校体育施設の開放についてもよく取り組まれている。スポーツ行事等も定着してきているが、スポーツ少年団加入者の減少については、どういう課題があるのか調査をする必要がある。また、スポーツ施設の整備が求められる。

③ 地域文化・芸術・文化財の保護・活用と生きがいつくり

町内には地域に誇れる文化・芸術・文化財も多い。これらの優れたものがよく保存されたり伝承されたりしている。今後、文化財に対する人材育成をするとともに、一層地域住民の方への情報発信をしていただきたい。

4 全体を通して

「教育委員会の組織・活動」「教育委員会が管理執行する事務」については、方針や課題解決の方法等がよく示されている。また、「教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務」については、「美咲町教育振興計画」に基づき、各分野が具体的な数値目標によって評価されている。さらに、太字は町振興基本計画の重点施策として示されており、とてもわかりやすいものとなっている。

全体を見ると、昨年度の点検・評価に比較して3項目がマイナスのランクになっており、10項目がプラスとなっているので、ほぼ目標は達成されたものと見ることができる。

今後は、数値目標が妥当なものかどうかの検討と優先順位等を考慮しながら、重点課題を設定した取組の強化が求められる。